

自然災害に対する地圏・水圏の防災・減災技術の提案と強靱な都市の創造に関するグローバルPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月30日 ～2019年08月07日	日本	キングモンクット工科大学 トンプリ校	・土木工学科 ・学部2年生、学部1年生、 学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生19名、TA5名、教員1名 (キングモンクット工科大学 トンプリ校) 学生14名、教員2名	稲積 真哉(土木工学科)



図1

芝浦工業大学豊洲キャンパスにおいて、日本とタイに共通する自然災害(豪雨災害等)から地圏・水圏を守る防災・減災技術の提案をテーマとしたグローバルPBLを実施した。当該グローバルPBLでは本学から土木工学科の学生が参加し、キングモンクット工科大学トンプリ校工学部土木工学科の学部生ならびに大学院生と協力し、自然災害に強靱な都市の創造を提案した。具体的には、東京都内において地盤防災に関連した建設現場の見学、さらには理想的な都市創造の一例として東京オリンピックの開催に向けて整備中である東京湾岸の見学も行い、最後には各グループでその成果を議論・発表・共有した。また、タイにおける地盤防災、とりわけ地盤改良に関する建設現場や斜面が崩壊した現場のレクチャーも行い、タイ・バンコクにおける自然災害(豪雨災害等)の脅威を理解したとともに、自然災害から地圏・水圏を守る防災・減災技術の現状も理解した。当該グローバルPBLの実施を通じて本学土木工学科の学生は、自らが専攻する土木工学が世界の自然災害からの強靱化に如何に貢献する学問であるか、また、他国において土木工学を専攻する学生が何を考え、何を目標しているかを英語を通じて理解する良い経験となった。



図2



図3



図4



図5



図6